

●観覧料 | Admission

一般 Adults	¥1,800 (¥1,700)
大学生 University students	¥1,500 (¥1,400)
中・高校生 Middle and high school students	¥900 (¥800)
小学生以下 Children under 12	無料 Free

※()内は有料20名以上の団体料金(要事前予約、美術館券売所でのみ販売)
 ※障がい者手帳をお持ちの方と介護の方(1名)は無料
 ※同時開催する横浜美術館コレクション展も、本展観覧券で観覧当日に限りご入場いただけます。

●関連イベント

詳細は決まり次第ウェブサイトにてご案内します。

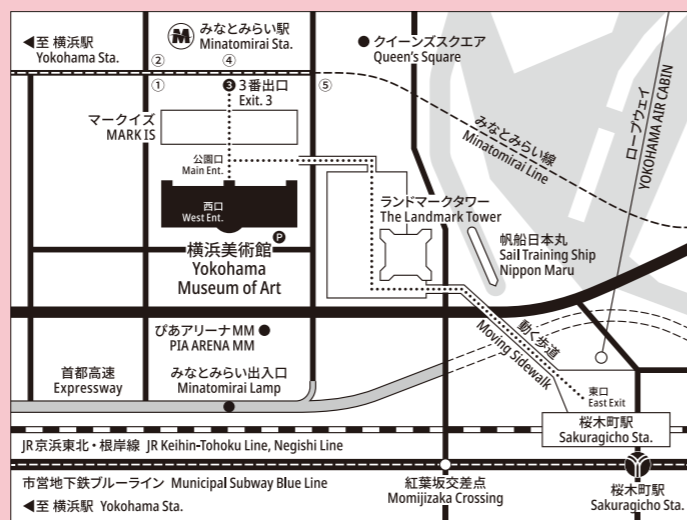
●次回展覧会

横浜美術館リニューアルオープン記念展

佐藤雅彦展

2025年6月28日(土)ー11月3日(日)

撮影: Y.D.S



- みなとみらい線(東急東横線直通)「みなとみらい」駅(3番出口)から、マークイズみなとみらい(グランドガレリア)経由徒歩3分
- JR京浜東北・JR根岸線・横浜市営地下鉄「桜木町」駅から(動く歩道)を利用、徒歩10分
- 駐車場(10:00ー21:00、収容台数157台):最初の90分は500円、以降30分ごとに250円

横浜美術館

Yokohama Museum of Art

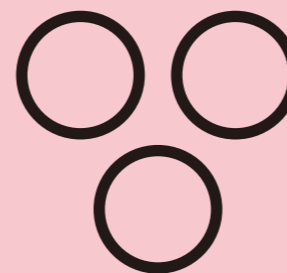
〒220-0012 神奈川県横浜市西区みなとみらい3-4-1
 3-4-1, Minatomirai, Nishi-ku, Yokohama, 220-0012, Japan
 Tel. 045-221-0300
<https://yokohama.art.museum>

おかえり、
ヨコハマ

横浜美術館リニューアルオープン記念展

2025年2月8日(土)ー6月2日(月)

開館時間: 10:00ー18:00 (入館は17:30まで)
 休館日: 木曜日(ただし3月20日(金)は開館)、3月21日(金)
 主催: 横浜美術館、神奈川新聞社、tvk
 特別協力: 横浜市歴史博物館、神奈川県立歴史博物館 協力: みなとみらい線



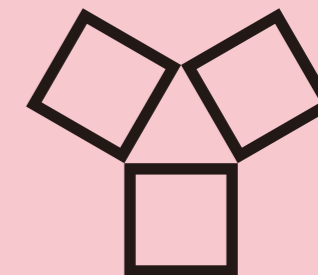
Yokohama Museum of Art
 Reopening Inaugural Exhibition

Welcome back,
Yokohama

February 8 – June 2, 2025

Open Hours: 10:00-18:00 *Admission until 17:30.
 Closed on Thursdays (except March 20) and March 21 (Fri.)

横浜美術館
 YOKOHAMA MUSEUM OF ART



おかえり、 ヨコハマ

2025年2月、横浜美術館はいよいよ全館オープンを迎えます。これを記念して、「横浜」をキーワードに、美術館のコレクションに立ち返る展覧会を開催します。おなじみの名作に加え、各所から作品をお借りし、アーティストにも新作を依頼します。テーマは「多様性」。開港前に生きた人びと、女性、子ども、さまざまなルーツを持つ人びとなどに注目します。すると、よく知っているはずの作品にもびっくりするほどたくさんの発見があることがわかります。また、子どもがゆっくりと作品に向きあえる「子どもの目でみるコーナー」もつくります。

1 みなとが、ひらく前

開港前は単なる漁村だった？ いえいえ、横浜には古くからたくさんの方が暮らしてきました。



左：筒形土偶（都筑区原出口遺跡）縄文時代後期 横浜市歴史博物館蔵 ＊4月9日まで展示
右：人面付土器（鶴見区上台遺跡）弥生時代後期 横浜市歴史博物館蔵 神奈川県指定重要文化財

2 みなとを、ひらけ

1859年に開港した横浜。めずらしい風物は国内外の注目の的でした。



昇斎一景《汐留より蒸気車通行の図》1872年 横浜美術館蔵（齋藤龍氏寄贈）

3 ひらけた、みなと

みやげものとして、また輸出向けに、たくさんの産業が生まれました。



初代宮川香山《高浮彫牡丹二眠猫覚醒大香炉》明治前期 田邊哲人コレクション（横浜美術館に寄託）

4 こわれた、みなと

横浜生まれの画家たちは美術界で大活躍。そんなおり、関東大震災が横浜をおそいます。



牛田雞村「鹽江二題」のうち《薬街の夕》1926年 横浜市民ギャラリー蔵

5

また、こわれたみなと

戦争が近づく横浜。洋画家、松本竣介が市内の橋を描いたシリーズ〈Y市の橋〉は、横浜初のまとまったご紹介です。



松本竣介《Y市の橋》1943年 東京国立近代美術館蔵



片岡球子《緑陰》1939年 横浜美術館蔵（片岡球子氏寄贈）

6 あぶない、みなと

戦後の占領が長引き混乱する横浜。同時に独特の魅力で多くの日本映画の舞台となりました。



クリス・チョン・チャン・ファイ《HEAVENHELL》2009年 作家蔵



常盤とよ子《路上》1954年 横浜美術館蔵

7 美術館が、ひらく

1989年、横浜美術館開館。この頃に収蔵した名作たちをたっぷりご紹介いたします。



ルネ・マグリット
《王様の美術館》1966年 横浜美術館蔵



ポール・セザンヌ
《縞模様の服を着たセザンヌ夫人》1883-85年 横浜美術館蔵



パブロ・ピカソ
《ひじかけ椅子で眠る女》1927年 横浜美術館蔵

8 いよいよ、みなとがひらく

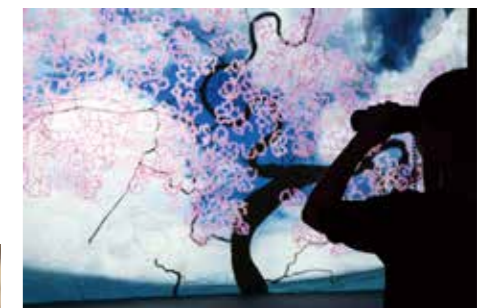
子どもと、私たち大人の中にある子どものために、未来への希望を探ります。



奈良美智《春少女》2012年 横浜美術館蔵



©YoshitomoNara 松田修《奴隷の椅子》2020年（横浜美術館に寄託）



ジュン・グエン=ハツンバ
《呼吸は自由 12,756.3：日本、希望と再生、1,789 km》2011年 作家蔵



椛皮一彦《walkingpractice feat.HIWADROME》2023年 発表場所：東京都美術館（参考写真）